

事業報告書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	スポーツ活動推進事業			
	スポーツ教室、スポーツ大会等の開催			
助成事業者名	公益社団法人日本ダーツ協会			
事業名	第32回日本障がい者ダーツ選手権大会			
実施した事業の成果	<p>全国から96名の選手が参加し、ダーツスタンド18台使用して男子シングルス、女子シングルス、障がいの種別、程度、年齢は区別なく対戦相手が生まれ、トーナメント方式で行なった。各ボードに審判1名（スコアラー）、補助1名（選手にダーツを一本づつ渡し、選手が投げたダーツを取りに行く）、合計2名づつ配置したことで、安全で厳密かつ円滑に試合を進行することが可能であった。今大会は、試合に出場する選手のみならず、「試合を観戦する」「大会運営に参加する」といったことを通じて多くの方々に参加いただけた。当日は、トーナメント敗退者を対象に、マグネットダーツの部、アキュームレーション（加圧方式）の部も開催し、一日を通して楽しめるようイベントが目白押しで、ダーツの初心者、ベテラン選手、どちらも楽しめる一日となった。会場では熱気に溢れた試合が行なわれ、選手控室では、にぎやかな談笑の輪を数多く見かけることができた。地元テレビからも取材もあり、ダーツの普及とボランティア活動の継承と発展、生涯スポーツの振興や健康増進などに繋がり、選手の事故もなく全ての面において成功であった。</p>			
実施した事業に対する評価	<p>予定されていた種目は全種目実施することができた。一日を通して楽しめるよう工夫したことで、男子、女子の決勝戦は全員が見守る中、静まり返った会場で投げられ、両試合ともどちらが勝ってもおもしろくない白熱した試合が繰り広げられ、勝敗が決まった時には、会場から大きな、大きな拍手で両者の健闘をたたえられた。興奮冷めやらむ中、大勢の選手や観客が見守る中、「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」の推進のための、日本代表選手によるエキシビジョンマッチを開催。今年度はダブルスにて開催し、障害の有無を越え、ダーツを通じて喜びや悔しさ、達成感など様々な経験を共有することで、お互いの理解を深め、友情を育むと共に、会場にいた人たちにダーツの奥深さ、面白さを十分に伝えてくれた。開会式や閉会式は、専門の資格を持った公式の手話があったが、競技中は、地元の大勢の手話サークルの活躍もあり、耳の不自由な人とのコミュニケーションも十分に取れた。</p>			
くじ助成金以外の収入の増加に向けた取り組み	<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった	具体的な取り組みを行った場合には、その内容を以下に記入してください。		
実施した事業の内容 (種目・期間・場所・対象者等)	【実施事業の内容】			
	開催期間・開催日	平成28年1月31日		
	主催者・共催者 ※助成事業者が必ず主催または共催者となっていること	【主催者】公益社団法人 日本ダーツ協会		
		【共催者】		
	開催場所	高井戸地域区民センター		
	事業の内容	<p>試合方法は、トーナメント方式（エニースタート、エニーフィニッシュ）で行った。試合分類は、男子シングルス 女子シングル。敗者を対象にした交流ゲーム、マグネットダーツの部、アキュームレーションの部も開催。役員・審判・ボランティア延べ130名で実施。大会の広報は、プログラム・案内状を作成し各都道府県協会、官公署、各種学校等に配布。男女シングルス上位4名を表彰。交流ゲームは上位3名を表彰。大会実施後に、大会結果を本会ホームページに掲載。</p>		
	開催期間内の事業 (大会・教室等)の実施回数	1	回	
	平均参加人数 ※スタッフ・観覧者を除く	96	人	総参加人数 96 人
	(うち地域住民(貴団体の所在する都道府県内に住む方)の参加人数)	71	人	地域住民参加割合 73.96 %
	(うち障がい者参加人数)	96	人	障がい者参加割合 100.00 %
実施日における運営スタッフ (請負業者を除く)の平均参加人数	130	人	平均参加人数に対する運営スタッフの割合 135.42 %	
緊急体制	<input type="checkbox"/> 医師が待機 <input type="checkbox"/> 看護師が待機 <input type="checkbox"/> 会場にAEDを設置 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし			

事業報告書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	スポーツ活動推進事業					
	スポーツ教室、スポーツ大会等の開催					
助成事業者名	公益社団法人日本ダーツ協会					
事業名	第32回日本障がい者ダーツ選手権大会					
世代別参加内訳	以下に平均参加人数の内訳を記入してください。					
	平均参加人数	96 人				
	世代 性別	①0～19歳	②20～39歳	③40～59歳	④60歳～	合計
	男性	2	17	18	24	61
	女性		9	12	14	35
	計	2	26	30	38	96
情報公開	事業の実施計画の公表	事業を広報・PRするための手段（複数選択可） <input checked="" type="checkbox"/> HPで参加者募集を告知した <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で参加者募集を告知した <input checked="" type="checkbox"/> 広くチラシを配布した <input checked="" type="checkbox"/> 特定の参加者・団体へ声をかけ、参加を呼びかけた <input type="checkbox"/> 事業の実施に際し、特段の広報・PRは行わなかった				
	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開	情報の公開方法（複数選択可） <input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 特段の情報の公開は行っていない（理由： ）				
	公表した内容（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況（助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開） <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果（助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開） <input type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報（助成金額（交付決定額）及び何に使用したのかを公開） <input type="checkbox"/> 助成金の交付を受けた旨は公開できない（理由： ）				
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか	<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった		実施方法			
備考						